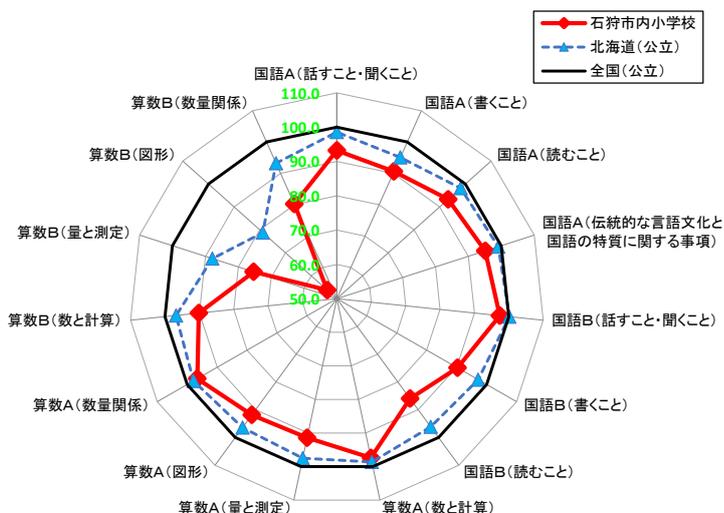


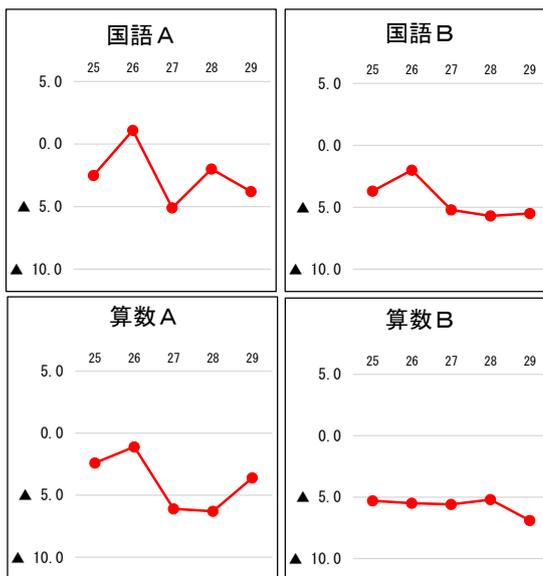
# ■石狩市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:13校、児童数:521人)

## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

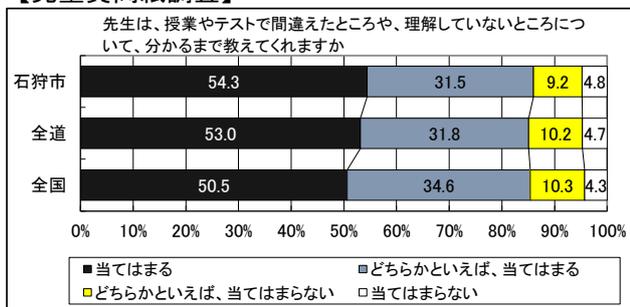


## 【平均正答率の全国との差の推移】

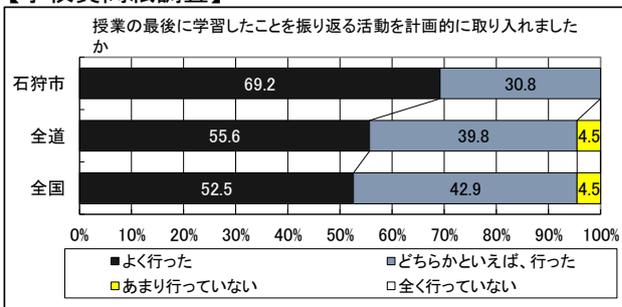


※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

対象	分析内容
教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語B及び算数Aにおいて、前年度と比較して、全国の平均正答率との差が縮まっている。</li> <li>○ 算数Aでは、「数と計算」「数量関係」で全道とほぼ同様になっている。</li> <li>○ 国語Bでは、「読むこと」、算数Bでは、「量と測定」「図形」「数量関係」に課題がある。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>

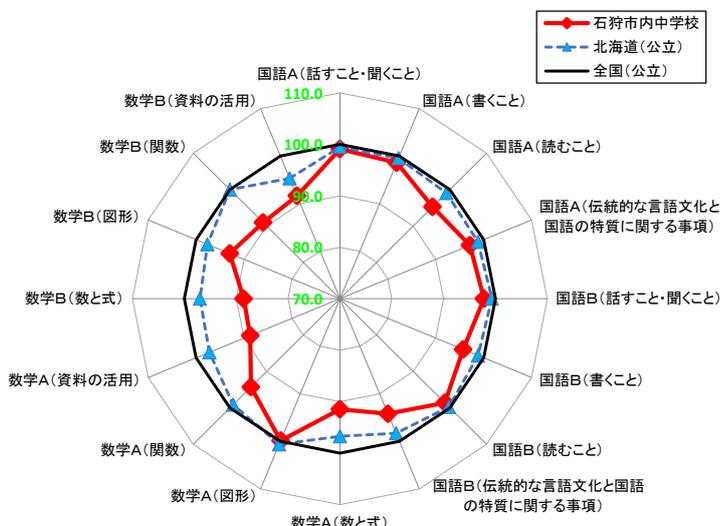
## 【石狩市の学力向上策】

- ◎ 市内全校への「学校力向上に関する総合実践事業」の成果の普及並びに中学校区を単位とした「小中連携教育」の充実
- ◎ 「エキスパート・サポーター」や「学力向上サポーター」を活用した「個に応じたきめ細かな指導」及び「わかる授業」の推進
- ◎ 家庭と連携した学習の連続性を高める取組の推進
- ◎ 教職員の資質向上や授業力向上を図るためのサマーセミナーや教職8年以下の教員を対象としたウインターセミナーの実施

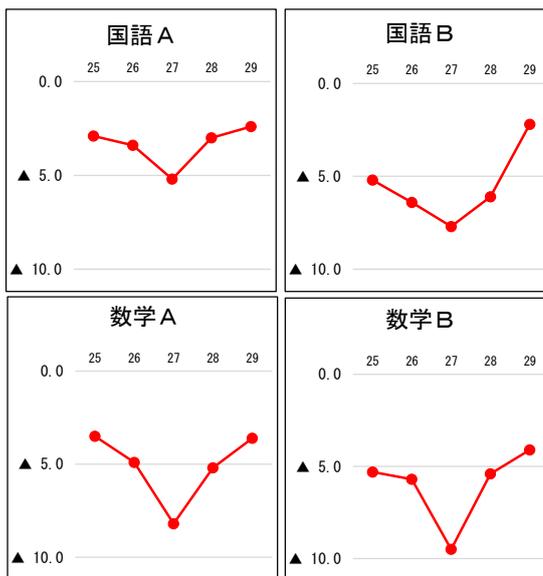
# ■石狩市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:8校、生徒数:486人)

## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

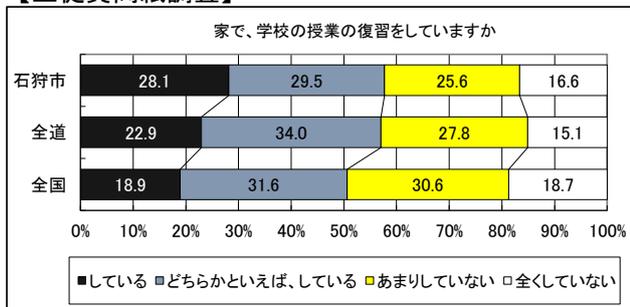


## 【平均正答率の全国との差の推移】

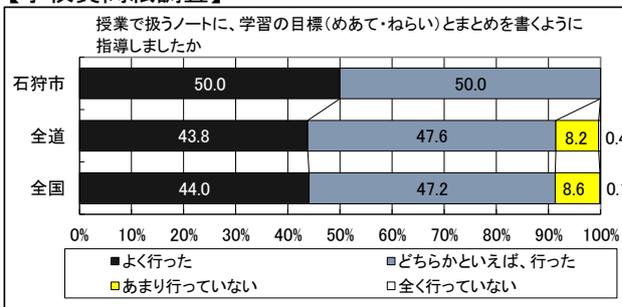


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ すべての教科において、平成27年度から、全国の平均正答率との差が縮まっている。</li> <li>○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全道とほぼ同様になっている。</li> <li>○ 数学Aでは、「図形」で全国とほぼ同様になっている。</li> <li>○ 数学Aでは、「資料の活用」、Bでは、「数と式」に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校で、日常の授業において課題設定やまとめ・振り返りを重視した指導を継続的に行ったことにより、基礎学力の定着が図られ、すべての教科の改善につながったと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭と連携し、学習の連続性を高める取組を推進したことにより、家庭での学習習慣の定着が図られ、授業の復習をしていると回答した生徒の割合が高くなったと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導した」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	

## 【石狩市の学力向上策】

- ◎ 市内全校への「学校力向上に関する総合実践事業」の成果の普及並びに中学校区を単位とした「小中連携教育」の充実
- ◎ 「エキスパート・サポーター」や「学力向上サポーター」を活用した「個に応じたきめ細かな指導」及び「わかる授業」の推進
- ◎ 家庭と連携した学習の連続性を高める取組の推進
- ◎ 教職員の資質向上や授業力向上を図るためのサマーセミナーや教職8年以下の教員を対象としたウインターセミナーの実施